

わたしの 妊娠報告書

記載日 2008年12月25日

おめでた宣言日	2008年 4月
年齢 (29) 歳	平成 (16) 年 (/) 月 結婚
私は (顕微受精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(4) 年 () ヶ月
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 (タイミング法, フロニット服用 → 1回目顕微受精(失敗))
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法	() 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法	() 回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 + 人工授精	() 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 + 人工授精	() 回
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法	() 回
<input type="checkbox"/> 体外受精	() 回
<input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精	(1) 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

ルイボステイが良くと聞いたので、ひたすら飲んでいました。

病院に通いながら、不妊に効果があるといわれていた鍼療法にも通いました。冷え症だったので、ウォーキングをしたり、ゆっくりお風呂に入ったりもしました。あまり悲観的にならないように、悲しくなったり落ち込んだ時は、友人や家族に話を聞いてもらいました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

私の場合、住まいが米国にあり米国での初めての顕微鏡に失敗、環境を変えて最度治療再開したく、実家のある奈良へ一時帰国して、2度目の顕微鏡に挑戦しました。

その他 (通院・治療費・家族など)

主人が日本へ2週間だけの帰国だったので、2人でゆくり話をしながら、病院へ通う事はできませんでしたが、実家の家族と協力して通院しました。

治療中の方へのアドバイス

私は、米国で治療を始めた時、当時25歳でしたが主治医から妊娠する可能性は20% ~~ある~~ があるかないかと言われていました。ものすごくショックでしたが、子供をあきらめる事ができず、2回顕微鏡に挑戦しました。落ち込む事も多々ありましたが、家族、病院の方々、友人などに支えられて頑張りました。アドバイスにならぬかもしれませんが、強く願えば、頑張れる気がしました。スタッフへのご意見など

限られた期間、自宅から離れた治療で不安が多かった私を中山先生、粟井さんをはじめ皆さん温かく接して下さいました。質問ばかりしていた私に、一つ一つ誠実に答えて下さった中山先生。本当にASKAに決めて良かったと思っています。ありがとうございました。